

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

下永谷地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

【下永谷地区】(人口) 13, 144で前年度より減少、(高齢化率) 26. 8%と上昇し、高齢者のみの世帯が増え、認知症の進行で外出ができなくなって生活の支援が必要とされる相談が増えました。

また、若年性認知症、40~50代のガン末期、進行性難病、精神疾患等、課題が重複した相談も多く寄せられました。民生委員やたすけあい連絡会、町内会の役員の方々の協力もあり地域でゆるやかな見守り体制のきっかけづくりに繋がっている事例もありました。その他、ケアプラザで実施したサバイバル体験会がきっかけとなりエリア内中学校で全校生徒と地域の懇談会にて、HUG訓練の実施に繋がりました。

【永野地区】(人口) 包括担当エリアの上永谷4~6丁目は5, 927と前年度より若干増加、高齢化率平均26. 3%で前年に比べて高いですが、広大なエリアであるため、町会単位での活動が活発に行われています。単会毎の地域役員との「顔の見える関係づくり」を構築して行くために、ケアプラザ職員は役割分担を行い、町内会毎の会議や自治会館で開催されている体操教室やシルバークラブの集まり等に積極的に出向きました。

- 具体的な取り組みとして、今年度は包括支援センターエリアと地域活動交流エリアに講座のチラシやケアプラ通信の配布場所を新たなコンビニ、薬局、病院等に拡大し、人員の集客に繋がりました。
- 毎年行っている「ボランティア見学会」の内容を見直し多くのボランティア登録に繋がったり、貸館利用団体に声掛けし、ケアプラザが企画する事業でのボランティア活動に入ってもらうなど、地域で活動するきっかけづくりを積極的にコーディネートすることが出来ました。
- 緊急的な困難事例の発生が数例あり、個人情報漏えい事故や車両事故などは区役所への連絡をスピーディーに行う事で、解決や方向性を見出すことができました。所内では情報の共有を行い、課題分析をし、職員のスキルアップを進めるきっかけになりました。
- こどもの居場所づくりの「あそびにおいでよ」「こどもの卓球サロン」「なつっこ」や多職種連携で実施している「音楽療法」「さくら☪カフェ」「しもかふえ」など地域のニーズに反映した事業を展開することができました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

下永谷は開所から18年目を迎え、経年劣化が目立ち始めてきています。日々の管理点検は14項目の館内見回りチェックリストの活用で担当職員が行いました。28年度も雨漏りやトイレ設備の不具合等を管理者から港南区へ報告を行い、速やかに対策を行い、来館者に安全なサービス提供が行えるように配慮致しました。専門業者による定期清掃、設備点検、セキュリティの強化はもとより、火災、ガス漏れ、不法侵入等に対する対策として警備機器の端末感知器を設置し、万全の対策を講じました。

イ 効率的な運営への取組について

地域の福祉保健活動の拠点として、地域住民の皆様に積極的にご利用頂けるよう、エリア内の学校や関係施設、薬局、商店街に広報誌の配架協力を依頼し情報発信を行いました。各部門で目指す目標を明確にし、進捗状況や、達成状況を定期的に話し合い、サービス向上を目指しました。管理者は職場環境を整え、適正な人員配置や外部研修等への積極的な参加を促し職員のスキルアップを支援しました。ケアプラザでの出会いや活動が地域住民のボランティアのきっかけづくりや介護予防につながり、講座等での参加者に配布したアンケートからもまた参加したいという記載が多く見られました。

ウ 苦情受付体制について

ケアプラザは指定管理という立場から苦情受付体制を整えており、迅速な対応を行いました。各部署の常勤職員から管理者へ報告を行い、プロセスを明確化し「苦情受付票」の作成、繰り返し同じような事例が発生しないよう情報を共有し解決策を周知徹底することを徹底しました。透明性を持った運営を行うため、施設内の掲示にて情報を公開しています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時の連絡体制を整備し、ケアプラザ全体で年2回防災訓練を実施しました。夜間のセキュリティに関しては専門業者に委託し、15分以内に駆けつけられるような体制を整えています。管理者と数名の職員の連絡先を警備会社に告知しており、不測の事態への対応想定や特別避難場所としての応急備蓄を適正に管理し、地域の防災拠点からの避難訓練を今年度も実施しました。

オ 事故防止への取組について

福祉サービスの現場では高度な安全配慮への義務が課せられており、極力事故を回避しなければなりません。事故防止に向けての啓発は日々のミーティングで行い再発防をマニュアルや事件事例で周知徹底を行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報を含む書類やパソコンの記憶媒体は鍵のかかる場所に保管し取り扱いには細心の注意を払いました。パソコンはパスワードの設定を行っています。個人情報保護に関する研修の実施や市内ケアプラザで発生した事故事例等で未然に防ぐ方法として活用しました。

キ 情報公開への取組について

法人のホームページには理念や沿革、事業内容を掲載しています。また「介護情報サービス情報かながわ」には通所介護事業、居宅介護支援事業、地域包括支援事業の公開を行っています。ケアプラザでの各事業やイベント内容は、毎月の「広報こうなん」やケアプラザ独自の「ケアプラ通信」に掲載しました。

ク 人権啓発への取組について

- ・地域のサロンや小学校等で認知症や成年後見制度の啓発事業を開催し、地域住民が高齢者や認知症に対する理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めました。
- ・障がい者が通う地域の作業所には手作りパンやクッキーなどの販売を依頼するなどして地域住民が障害者とふれあい、障がいについての理解を深める機会を作りました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

行政施作の主旨に基づいた取組として、リデュース（発生抑制）→ペーパーレス会議コピー用紙裏面使用、リユース（再利用）→フリーマーケット開催・インクカートリッジの回収箱設置、リサイクル（再生）→資源ごみの徹底化によりごみの消滅、分別回収の促進等で地域住民も巻き込み「3R」活動に取り組みました。節電行動計画に基づき、館内の照明はこまめに消し、冷暖房の設定温度を市が推奨する温度としました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 地域包括支援センター 常勤 3 名
- ・ プランナー パート 2 名

《目標》

- ・ 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごすことが出来るよう支援しました。
- ・ 自ら生活課題に取り組み、目標をもって自立生活を目指せるようご支援しました。
- ・ 介護保険以外の社会資源も活用しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域住民が主体的に介護予防や地域活動に参加できるよう、会合や出前講座等で周知を図りました。
- ・ 地域包括支援センター、地域活動交流、日常生活支援コーディネーター、プランナー、居宅介護支援事業所、サービス事業所、医療機関等多職種と連携を図りケアマネジメントやサービスの質の向上に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
136	138	146	140	140	139
10月	11月	12月	1月	2月	3月
143	143	141	137	137	139

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 介護支援専門員 常勤3名 非常勤1名
1名のケアマネジャーが担当利用者数35名を超えないよう適切な人員配置を行いました。

《目標》

- ・ ご利用者が可能な限り在宅生活が継続できるよう、本人、家族の意向に沿ったケアプランを作成しました。
- ・ ご利用者の心身の状況を把握し、医療、行政、サービス事業所、地域の民生委員等との連携を図りながらサービス調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ 通常のサービス実施区域外に訪問や出張する場合は、その旅費を頂く場合があります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 平成24年9月以降、特定事業所加算Ⅱを算定しています。主任介護支援専門員を配置、包括支援センターからの困難事例の受け入れや、24時間連絡がとれる体制を整え、質の高いサービス提供を目指しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
128	129	129	129	134	133
10月	11月	12月	1月	2月	3月
138	138	137	140	140	139

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎サービス ●入浴 ●食事の提供 ●移動介助 ●排泄介助
- レクリエーション ●日常生活動作訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 614円
 - （要介護2） 725円
 - （要介護3） 837円
 - （要介護4） 948円
 - （要介護5） 1,060円
- 食費負担 680円
- 当日キャンセル 680円

※その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00 ~ 15:15 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・生活相談員 4名
- ・介護職員（常勤兼務） 4名
- （常勤） 2名
- （非常勤兼務） 16名
- ・看護職員（非常勤兼務） 5名
- ・機能訓練指導員（非常勤兼務） 5名
- ・調理員（非常勤兼務） 7名
- ・運転手（非常勤兼務） 7名

《目標》

- ・ご利用者一人ひとりが、その有する能力においてその人らしい生活が実現できるよう個別の通所介護計画を基に自己決定と選択を尊重し利用者本位のサービス提供を目指しました。
- ・法令遵守と事故防止に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・昼食は選択食の日、旬の食材を使ったお楽しみメニューの日、松花堂弁当箱を使用したメニューの日等、食事形態に力を入れています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
781	847	814	818	773	787
10月	11月	12月	1月	2月	3月
803	779	731	697	685	769

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎サービス ●入浴 ●食事の提供 ●移動介助 ●排泄介助
- レクリエーション ●日常生活動作訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 1, 776円

（要支援2） 3, 621円

●食費負担 680円

●当日キャンセル 680円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10:00 ~ 15:15 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・生活相談員 4名
- ・介護職員（常勤兼務） 4名
- （常勤） 2名
- （非常勤兼務） 16名
- ・看護職員（非常勤兼務） 5名
- ・機能訓練指導員（非常勤兼務） 5名
- ・調理員（非常勤兼務） 7名
- ・運転手 [非常勤兼務] 5名

《目標》

- ・ご利用者一人ひとりが、その有する能力においてその人らしい生活が実現できるよう個別の通所介護計画を基に自己決定と選択を尊重し利用者本位のサービス提供を目指しました。
- ・法令遵守と事故防止に努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・食事は選択食の日、旬の食材を使ったお楽しみメニューの日、松花堂弁当箱を使用したメニューの日等、食事形態に力を入れています。

《利用者実績（契約者数）》

※単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
31	28	26	28	28	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
31	31	31	32	34	33

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・10月より区内の見守り事業の一環として前ケアプラザで実施されている「ひまわりホルダー」について、広報活動や受付業務を所内で連携しながら実施しました。
- ・貸館団体のメンバーから高齢者に関する相談を受け、地域包括支援センターを紹介し、相談支援に繋がりました。
- ・連合、地区社協、民生委員の会議、地域の活動（永谷川さくらまつり、永谷川水辺愛護クリーンアップ、下永谷の昔を歩く会、チャリティ芸能大会、サロン等）に積極的に参加しケアプラザのPR活動を行いました。
- ・地域防災拠点訓練の同日に特別避難場所訓練を行い、要援護者の移動などを行いました。当日は町内会にも協力を得て移動訓練を行いました。
- ・永野小学校、永谷小学校の個別支援級と1～2年（一般級）の児童を対象とした余暇支援事業「あそびにおいでよ」を1月に開催しました。
- ・地域の方の声を元に参加者同士がふれあう居場所づくりとして「しもかふえ」を開催しました。その他にも子どものみでの卓球サロンへの参加希望の声を元に、福祉保健活動団体に協力を得て、「子どもの卓球サロン」を開催しました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ・「たすけあい連絡会」の定例会やボランティア研修会の企画の提案、準備、実施の支援を行いました。支え合いマップ作りやたすけあい連絡会の枠を外した活動への提案を行い、ボランティアと地域課題を共有するに至りました。
- ・個別支援で挙げられた地域課題について、包括と地域交流が協同し、男性向け料理の講座（地域の方に講師を頼み活動の場を広げた）、認知症や失語症への活動の場の拡大、ボランティア育成へ繋がりました。
- ・畑づくりの後方支援を協同で継続し、若年性認知症やひきこもり及びその支援者の交流や活動の場となっています。
- ・28年度より新たに配置された生活支援コーディネーターを含む5職種で会議を行い、事業の企画・実施を行いました。また、所内での事業に限らず、エリア内の地域支援においては、地域診断を行い、共有・把握をしました。

3 職員体制・育成

- ・今年度ケアプラ全体では個人情報保護に関する研修をはじめ、接遇研修、感染症研修など、通所介護の非常勤スタッフを対象に重点的に実施しました。外部研修では所長をはじめ、四部門の職員及び生活支援コーディネーターがスキルアップの為に積極的に参加しました。
- ・介護保険事業と指定管理部門との連携を図るため、朝のミーティング時の情報を文章化したり、代表メールの介護保険情報等をプリントアウトして確認するなど、仕事の資質向上に向けた工夫を行いました。
- ・職員のメンタルヘルスケアの為に、法人全体でストレス簡易調査票を使い未然に防ぐことと働きやすい職場環境づくりを推進しました。
- ・通所介護事業や介護予防事業でサービスの質の向上に向けレクリエーションの充実を図る為にカラオケ機械のリース導入を行いました。
- ・職員のモチベーションを上げる為の業務改善や事故後の再発防止の為に会議などは丁寧に行いました。
- ・朝倉病院との連携により、スタッフの介護技術のスキルアップの研修を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・永野連合地区、永谷連合地区、下永谷連合地区の3地区のエリアミーティングや地区支援チーム会議を開催し、地域支援の方向性や支援内容について情報交換や提案を行い、地域住民との会議や共同作業に役立てました。
- ・永谷小学校で行なわれた永谷小学校地域防災拠点特別避難場所開設・運営訓練に参加し、要援護者支援を想定し、地域ケアプラザ職員と町内会の方々と一緒にリアカーや車いすにて小学校からケアプラザまでの移動を実施しました。
- ・地区社協、民児協、保健活動推進員等の地域関係者の会議や地域のイベントに参加し地域住民と一体となり顔の見える関係づくり、協働できる体制づくりに努めました。
下永谷地区では6月に意見交換会が行われ、第3期地区別計画の推進にあたっての話し合いが行われました。その他下永谷ふるさと会議に参加し、地区別計画推進に取り組んでいます。
- ・福祉保健計画のテーマと連動した自主事業を実施しました。各事業がテーマのどの部分に連動しているか分かるよう表を作成しました。
- ・ひぎり地区が日限山地域ケアプラザに担当は移りましたが、障がい児の余暇支援事業「ドルフィン」の打ち合わせに参加するなど地域支援に取り組み、協力しながら移行しました。

5 区行政との協働

- ・各部門ごとの担当圏域において区役所・区社協の担当職員が情報共有や地域診断、地域支援を行うための会議を定期的に行ないました。
- ・ケアプラザ文化祭やサバイバル体験会等地域住民と協働して行なうイベントについては行政機関への参加も声かけをし、顔の見える関係づくりに努めました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・事業開催の周知をするにあたり、駅の掲示板や近隣のコンビニや薬局、小学校等に掲示の協力を得て周知をしました。また、近隣の保育園にケアプラザの広報紙やエリア内の子育てサークルのチラシの配架を依頼し、情報発信に努めました。
- ・下永谷助けあい連絡会やサロン等に参加し、地域の情報収集やケアプラザからの情報提供を行いました。
- ・廊下ギャラリーを活用し自主事業の紹介、ボランティア募集、参加者募集の情報が分かるようにし、気軽に情報を持ち帰ることができるようにしました。その他、ケアプラザ以外の機関の情報や福祉保健活動団体の情報も分かるよう配架し周知に努めました。
- ・「広報よこはま・港南区版」に毎月自主事業の案内を掲載し周知しました。
- ・紙ベースでの発信だけでなく電子媒体を活用した「ひまわりタネット」や廊下ギャラリーを使って自主事業の紹介を行う等の情報発信を行いました。
- ・福祉保健活動団体や自主事業の情報をまとめた「しもながやグループガイド」を更新し、来館者や貸館利用登録団体へ情報提供を行いました。
- ・「ケアプラ通信」を6回／年発行し、各事業のチラシを作成、掲示や配布をし、周知を行いました。
- ・部屋利用団体交流会は次年度より利用方法が改訂となる貸館利用説明会と併せて実施し、その中で得た意見を今後の情報提供・周知活動に活かしていきます。また、ボランティア感謝祭を実施し、ケアプラザへの意見や活動して感じる事等を各団体、ボランティアの方々と情報交換、共有、収集を行いました。
- ・区、区社協、地域包括支援センターとエリアミーティングを行い地域情報の共有や

地域への働きかけ等の検討を図りました。

- ・風除室にある掲示板にて貸し館の空き状況が把握出来る様にし、多くの方が利用できるよう努めました。
- ・廊下ギャラリーを活用し、エリア内にある保育園へ呼びかけ、園児の作品を展示しました。展示をすることによって保育園の存在や園庭解放等の周知を行い、また園児の作品を見に来ることで普段就労等でケアプラザへ来る機会のない保護者にケアプラザを周知する機会となりました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・風除室の掲示板にて貸し館の空き状況の情報提供を行い、部屋利用、活動につなげました。目的外使用でも利用できる事を周知しました。
- ・貸館利用説明会と部屋利用団体交流会を12月の同日に実施しました。団体より出た意見を活かし今後の利用促進につなげます。
- ・ケアプラ通信に福祉保健活動団体の紹介を掲載し、貸館についての周知を行った事で、新規の団体登録、利用がありました。
- ・7月に文化祭を開催し、福祉保健活動団体の発表や展示等、活躍出来る場の提供を行いました。その他、「子どもの卓球サロン」や「囲碁将棋サロン」にて各団体の特徴を活かした福祉保健活動ができるよう支援しました。
- ・ケアプラザの廊下を展示の場として提供しました。
- ・福祉保健活動団体に対し、自主事業（イベント）開催時にボランティア募集を行い、福祉・保健活動へ繋げることが出来ました。

3 自主企画事業

【高齢者支援】

- ・「囲碁将棋サロン」では夏休みに子どもも一緒に活動する機会があり、昨年度参加した子が今年度も来るなど、世代間交流にも繋がりました。
- ・「卓球サロン」は現在エリア外の方や40～50代の方の参加もあり、少しずつ増加傾向にあり「大人の卓球サロン」は好評で多くの参加がありました。
- ・新規事業として「しもかふえ」を月1回開催し、参加者同士がふれあう機会ができました。談話をするだけでなく、参加者同士がそれぞれの特技を活かした場にもなりました。
- ・未だ地域デビューしていない高齢者が人生設計講座の参加を機に引き続き料理教室の参加者になりました。

【障がい児・者の支援】

- ・「キッズスペース」「夏休み毎日キッズスペース」では障がい児の参加は見られませんでした。小学生の参加が多く、放課後の居場所となりました。赤ちゃん連れの参加もありました。今後障がい児の参加についてもさらに周知をしていきます。
- ・永野小学校、永谷小学校の個別支援級と一般級の1～2年生を対象に余暇支援事業「あそびにおいでよ」を開催しました。
- ・「なつっこ」を開催することでボランティアの発掘とケアプラザの周知に繋がりました。

【子育て支援】

- ・「赤ちゃん教室」の会場として、ケアプラザを利用してもらい、他の子育て事業の周知と参加に繋がりました。
- ・「子育てひろば」を週1回「子育てサークル交流会」を年2回開催しました。区役所と共催をする事で身近な場所で相談が出来るという事の周知や他の子育て事業、サークル活動への参加につながりました。
- ・「ポケットパーク」を昨年のヒアリングの中で出た意見を基に年10回実施しました。今年度はアンケートを行い、実際の参加者のニーズも取り入れながら行いました。

- ・「夏休み工作教室」開催時に保護者向けに参加したい行事へのアンケートを行い、次年度の企画に活かしていきます。
- ・「子どもの卓球サロン」では小学生が参加しやすくなるように、福祉保健活動団体に協力を得ながら長期休み限定で実施し、福祉保健活動団体と子どもたちの交流の機会となりました。
- ・小学校高学年向けに、クリスマスイベントとして、12月にクッキー作りを行いました。

【その他】

- ・自主事業実施時にはアンケートやヒアリングを行い、得た意見を今後の事業企画に反映しました。
- ・自主事業では参加者が相談しやすい体制づくりを行い、声を拾い上げる事が出来ました。
- ・地域住民を対象とした事業「サバイバル体験会」「シモフリ」「文化祭」「もちつき大会」を実施し、多くの方の参加がありました。今後も「気軽に立ち寄れる場所」としてより多くの人に認識してもらえよう周知をしていきます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・10月に「ボランティア見学会」を開催し、定員を超える参加があり、デイサービスでの定期的なボランティア活動にも繋がりました。
- ・就労継続支援の事業所に働きかけ、若い世代のボランティア活動に繋がりました。
- ・ケアプラザで活動している方々へボランティアを募り「シモフリ」「文化祭」「もちつき大会」「なつっこ」等の多くの活躍の場につながりました。
- ・ボランティア募集や参加者募集のパネルを掲示し、来館者に活用してもらえよう周知をしました。
- ・「ヨコハマシニアボランティアポイント」の啓発として11月に登録研修会を実施し、登録者増員に加えボランティア活動にもつなげることができました。
- ・ボランティア感謝祭を3月に行い、情報交換や活動の課題を共有する機会を作りました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・5～6月の「人生設計講座」で「男の料理」講座を開催し、ケアプラザに関わったことのない男性方にもケアプラザを知ってもらうことができました。
- ・9/4に区内包括との共催により若年認知症の集い「みなとみな」を開催しました。
- ・相談内容を的確に把握し、内容に応じた適切な情報提供を行ない、また必要に応じて関係機関や制度、事業、インフォーマルサービスに繋げました。
- ・地域コミュニティーや介護サービスに繋がらない孤立傾向の高齢者を訪問し、安否確認や継続的な関係づくりを行いました。
- ・終末期や精神疾患等の緊急を要する相談では、関係機関と連携し迅速な対応を行いました。不動産屋や大家、民生委員、地域の方と連絡を取り合い、相互関係を通じた支援が出来ました。
- ・民生委員や地域の方からの情報には、迅速に訪問や状況把握し、対応した内容について必ず民生委員や地域の方に報告して返すように努めました。
- ・区内包括の輪番で蓬莱荘に出向き「なんでも相談会」を実施しました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・地域ケア会議を開催し、区、区社協、医療機関、民生委員等地域関係者と地域課題の共有化を図り、地域支援のネットワークを構築しました。
- ・地域ケア会議への参加を通じて、薬局やコンビニエンスストアが地域に向けた情報発信の場となる役割がある事に理解いただき、ケアプラザ事業のポスターやチラシの配架に協力してもらいました。
- ・たすけあい連絡会で支え合いマップづくりを行い、たすけてと言い合える地域づくりについての啓発や地域の情報把握に繋がりました。
- ・民生委員とケアマネジャーと介護保険事業所との連絡会を開催し、顔の見える関係づくりを行いました。
- ・民生委員から依頼を受け、友愛活動部会の活動員と民生委員の情報交換会へ参加し、グループワークを行いました。
- ・地域の会合や民生委員の定例会に出席し、独自に作成した“耳より情報”等を配布するなどして、包括支援センターの役割を周知し、より良い関係づくりを進めました。
- ・区、区社協とカンファレンスを（毎月）開催し、個別ケースや地域情報を共有し、チームとしての支援方法の検討を図りました。
- ・絆塾♥下永谷は下永谷地区の地域福祉計画の事業に列挙され、協働で防災イベントや文化祭を企画、実施をしました。

実態把握

- ・総合相談から、町内別の相談件数や相談内容を分析し地域の特徴を把握しました。その結果、精神疾患や認知症などにより自ら発信できずに孤立化する世帯が増加傾向にあることが判りました。また、介護認定を受けて住宅改修や福祉用具の購入のみを希望する方も多くみられました。
- ・講座や介護予防事業の開催後には参加者にアンケートを行い、ニーズの把握を行いました。
- ・地域ケア会議の開催や自治会の会議に参加するなどして地域の特性、地域の主要な人材・関係性などを把握し、地域に即した支援方法の検討に繋げることができました。

2 権利擁護

権利擁護

- ・セカンドライフの充実を目指す「人生設計講座」で「老後のマネープランニング」と「相続・遺言・後見」で成年後見制度の啓発を行いました。
- ・成年後見制度申立て支援は、手続きや第三者後見人等について個々の状況に応じた説明や支援を行い、必要な場合には区と連携しながら、申立ての支援を行いました。
- ・消費者保護の相談は、消費生活総合センターと連携し解決支援を行いました。

高齢者虐待

- ・区内包括社会福祉士分科会の協働で、区内ケアマネ連絡会と通所介護事業所等で虐待防止研修を開催し、虐待に関する基礎知識と早期発見についての周知を行いました。
- ・虐待の可能性のある相談事例については区と同行し状況確認するなどして情報を共有しながら早期の対応を行いました。
- ・介護者のつどい「ささやか」を開催（偶数月）し、介護ストレスの軽減や介護者同士の仲間づくりを支援しました。

認知症

- ・区内包括の共催で若年性認知症の集い「みなとみな」を開催し、当事者8名、家族11名、支援者31名の参加がありました。
- ・若年性認知症の方の活動の場として、畑づくりの活動を継続して支援しています。新たな参加者を繋げると共に、畑づくりだけではない他の活動にも参加者の活動をひろげることができました。
- ・エリア内グループホームの協力を得て、認知症カフェ「さくら☪カフェ」を開催しました。（奇数月）当事者だけでなく、グループホームの入居者や民生委員、地域住民等も参加ができています。
- ・休会していた介護者の集い「ささやか」を偶数月の開催で再開し、介護技術や介護食等の勉強会も交えながら、新規の参加者を募っています。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・状況に応じて早急な対応もできるよう、職員間での情報共有、話し合いをして、支援内容を検討しました。必要に応じて区分変更申請やその他の制度・機関につなげ、多方面からの支援をしています。
- ・利用者が主体的に自立生活を継続できるよう、ケアプラン作成、モニタリング、評価を行ない、一緒に状況把握や目標を立てるよう支援しています。また、委託の居宅介護支援事業者の開催する担当者会議への出席や電話連絡等を通じて、プラン作成や支援についての助言や協力（ケアマネジャー不在時の緊急連絡や同行訪問等）を行っています。
- ・2月にケアマネジャーを対象とした区内介護予防ケアマネジメント研修を開催しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

（民児協等と地域包括支援センターとの連携）

- ・7月に「民生とケアマネジャー等連絡会」を行いました。
参加者 38名 民生委員からの希望で地域の通所介護事業所に参加を依頼し、グループに分かれ、各班で事例検討会を行い、顔の見える関係を作ることができました。
- ・地域のグループホーム等の看護小規模複合型施設の運営推進委員会に参加し、実施報告を受けました。家族にケアプラザの事業を紹介しました。5月からグループホームと共同で隔月でさくら☼カフェ（認知症カフェ）を行うことになり、継続できています。
- ・朝倉病院の医療連携室との企画で10月にケアプラザで「より良い歳の重ね方教室」を開催し参加者から今後も受けたいとの声が多く聞かれました。
- ・3月にケアプラザ協力医による「心臓病について」の講座を開催しました。

医療・介護の連携推進支援

（他職種とのネットワーク構築）

- ・10月に介護者のつどい「ささやか」で朝倉病院の理学療法士、福祉用具事業所の協力で介護用ベッド、車椅子の体験を行いました。
- ・10月に朝倉病院の院内研修で「包括出前講座・介護保険制度」を行いました。

（ケアマネジャーと医療機関との連携）

- ・9月より、月2回ケアプラザ協力医と「Drつかさ医療相談」を開始し、ケアプラザや地域のケアマネジャーや地域住民が医療に関する相談ができるよう支援しました。
- ・4月、10月に「医福ネット港南」は区役所、区内包括主任ケアマネジャーが中心になり開催し、区内多職種が参加しグループワークで連携を深めました。
- ・9月の包括レベル地域ケア会議では専門職や多職種が参加し、それぞれの立場での貴重な意見を聞くことができました。

ケアマネジャー支援

(初級ケアマネジメント講座)

- ・5月に全3回、施設見学会を実施しました。
- ・9月～11月に全5回で「おさえておきたい法令」「対人援助技術」「思考プロセス」「事例検討会の実践」「サービス担当者会議の開き方」の講義を行いました。
- ・12月に自主グループ立ち上げ支援を行いました。自主学習グループに区内主任ケアマネジャーが輪番制で参加し、ネットワーク構築とスキルアップ向上を目指しました。

(中級ケアマネジメント学習会)

- ・3か月毎にスーパービジョンについての学習会と事例検討会を行っており、継続できています。
- ・ケアマネサロンを区内主任ケアマネジャーが協働で開催し、予約なしで参加できる気軽な場所づくりを提供しました。
- ・困難事例は区役所等と連携を図り、常時対応できる体制をとることができました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・9月に包括レベル地域ケア会議を実施しました。テーマを「地域の見守り強化のためのしくみづくり」とし、見守りの枠から外れている人を発見するために地域の力を借りることができないかについて、多職種（薬剤師、港南区在宅医療相談室、病院医療相談室、ケアマネジャー、民生委員、コンビニエンスストアオーナー）で話し合いを行いました。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・介護予防講座から自主グループ化に至った運動グループや立ち上げに関わったサロンが圏域内に散在しています。介護予防に関する地域課題が「住民の身近な場での介護予防の取り組みや参加」と「圏域内の地域活動の継続」と分析し、内容がワンパターン化した数カ所のサロンから相談を受け、活動強化のために介護予防の要素のあるリトミックや音楽療法、あるいは有料ホーム紹介所の講師を派遣し、後方支援を行いました。
- ・「さくら☪カフェ」は隔月で「音楽療法」は毎月開催をしています。
- ・地域の需要にこたえ、自治会館や集合住宅で介護予防出前講座や健康づくりの働きかけ（体力測定）を実施しました。
- ・1～3月に介護予防講座の開催しました。
- ・介護予防事業や講座等を「よこはま健康スタンプラリー」の対象として登録し、参加者増員や周知の拡大を図りました。葉書の回収箱の設置と代理提出を行いました。

6 生活支援体制整備事業

(地域支援)

- ・地域の活動と資源を把握するため、地域やケアプラザの体操教室に参加し、より正確なサービス資源情報リストを作成しました。
- ・単会の「夏祭り」や「餅つき大会」、「下永谷の昔を歩く会」等の地域行事に参加し、各地域情報の把握と住民の方とのより良い関係づくりを行いました。
- ・情報収集の一環で訪れた蓬莱荘の利用者との交流を通じ、情報が得られたことから、デイサービスでのボランティア活動に繋がりました。
- ・「下永谷粋いきガイド」の更新を行ないながらニーズ把握を行いました。
- ・圏域内にあるグループホームの運営推進会議や行事に積極的に参加しました。
- ・民児協や友愛活動員の定例会に出席し、関係づくりや情報収集を行いました。
- ・生活支援コーディネーターについてのチラシを作成し、地域住民に対し周知を行いました。
- ・10月のケアプラザの運営協議会にて生活支援コーディネーターの役割の周知を行いました。

(協議体設置に向けて)

- ・来年度の開催に向けての参考にするため、他地区の協議体の構築に向けた研修へ参加しました。
- ・地域の情報収集を行っています。対象圏域が複数のケアプラザで関わるエリアについては協力しながら進行していきます。
- ・協議体設置の準備のため9月に実施された地域ケア会議のメンバー構成のため、薬局やコンビニエンスストアに出席の依頼をしました。
- ・地域ケア会議終了後振り返りを行い、次期地域ケア会議の構成と協議体の構成メンバーについて検討を行いました。
- ・包括レベルの地域ケア会議で、地域住民に向けて、地域の現状や課題を説明し、意見交換を行いました。それを踏まえて、協議体の構成員を検討していきます。

(所内、多職種との連携)

- ・下永谷ふるさと会議（地区別計画推進会議）で出た課題を5職種が共有しました。
- ・区内の1層コーディネーターと2層コーディネーターと区の現状・課題を把握・認識し共有しました。
- ・包括3職種と連携・補完し、「さくら☪カフェ」を隔月、「音楽療法」を毎月開催し、介護予防の充実を進めています。
- ・若年性認知症やひきこもり及びその支援者の畑づくり活動の後方支援をしています。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 下永谷地域ケアプラ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	認知通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	15613	23251	151						5789
	介護保険収入				4434	23433	84557	11718	14994	
	その他	4942	3226		3873	7246	1079			
	介護予防ケアマネジメント費				3873					
	要介護認定調査委託料収入					282				
	委託事業		20			706				
	その他の事業収入						974			
	受取利息配当金収入						1			
	その他の収入						5			
	自販機手数料収入	77	77							
	雑収入	58	144				99			
	サービス区分間繰入金収入	4807	2985			6258				
	収入合計(A)	20555	26477	151	8307	30679	112348			5789
支出	人件費	11662	22383			26199	73709			3116
	事務費	1439	1805			1747	3602			
	事業費	392	784	151			10354			21
	管理費	6129	1337			71	10778			
	その他	933	168	0	8307	1796	13088	0		330
	消費税	933								
	サービス区分間繰入金支出				6258	664	4807			
	拠点区分間繰入金支出					1000	8000			
	介護予防プラン作成委託料				2049					
	固定資産取得支出						149			
	ファイナンス・リース債務返済支出					132	132			
	戻入額		168							330
	支出合計(B)	20555	26477	151	8307	29813	111531			3467
収支 (A) - (B)	0	0	0	0	866	817			2322	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
絆塾・下永谷 ケアプラザ文化祭	①地域	20,180	20,180	0	0	4,773	15,407
	②359人						
	③0						
絆塾・下永谷 実行委員会	①地域	0	0	0	0	0	0
	②106人						
	③0						
絆塾・下永谷 避難生活サバイバル体験会	①地域	10,865	10,865	0	0	9,071	1,794
	②96人						
	③0						
ケアプラザ廊下ギャラリー	①地域	0	0	0	0	0	0
	②0人						
	③0						
おまつりひろば	①乳幼児	15,591	6,891	8,700	13,364	540	1,687
	②29組						
	③300円						
あそびにおいでよ	①女性、地域	7,553	5,953	1,600	2,227	266	5,060
	②16人						
	③100円						
ボランティア感謝祭	①ボランティア	25,387	25,387	0	0	0	25,387
	②42人						
	③0						
ボランティア見学会	①地域	0	0	0	0	0	0
	②11人						
	③0						
しもかふえ	①地域	13,204	5,004	8,200	0	0	13,204
	②82人						
	③100円						
子育てサロン 「ポケットパーク」	①子ども、親	37,081	37,081	0	33,409	2,484	1,188
	②521人						
	③0						
もちつき大会 & バザー	①地域	52,530	0	0	0	27,511	25,019
	②621人						
	③0						
貸館説明会 (部屋利用団体交流会)	①部屋利用団体	7,350	7,350	0	0	0	7,350
	②33人						
	③0						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
囲碁・将棋 サロン	①男性、地域	0	0	0	0	0	0
	②406人						
	③0						
キッズスペース	①子ども	0	0	0	0	0	0
	②102人						
	③0						
夏休み毎日キッズスペース	①子ども	0	0	0	0	0	0
	②99人						
	③0						
下永谷地域ケアプラザ フリーマーケット	①地域	6,532	6,532	0	0	3,543	2,989
	②268人						
	③0						
ゆらりんころりん	①子ども	26,728	21,328	5,400	26,728	0	0
	②18組						
	③300円						
プラレールのへや	①子ども、親	0	0	0	0	0	0
	②187人						
	③0						
夏休み工作教室	①子ども	21,749	14,749	7,000	10,022	11,727	0
	②14人						
	③500円						
夏休み工作教室	①子ども	14,844	9,144	5,700	10,022	4,822	0
	②19人						
	③300円						
大人の卓球サロン	①大人	0	0	0	0	0	0
	②479人						
	③0						
卓球サロン	①地域	0	0	0	0	0	0
	②577人						
	③0						
クリスマスクッキーづくり	①小学生	8,740	5,490	3,250	5,568	2,934	238
	②13人						
	③250円						
子育てサークル交流会	①子ども、親	7,057	0	0	6,682	0	375
	②197人						
	③0						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市下永谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
絆塾・下永谷 ケアプラザ 文化祭	<p>【目的】 活動の周知・情報提供。活動のネットワーク。 担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。</p> <p>【内容】 ケアプラザ等で活動している福祉保健活動団体による、ステージ披露や展示による活動の発表、体験コーナーの実施。その他、地域ケアプラザの機能の紹介や、作業所のパン販売、ボランティアによるフェイスペイントも実施</p>	<p>【時期】 7月</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絆塾・下永谷 実行委員会	<p>【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。 地域のつながり交流の場づくり。</p> <p>【内容】 住民の皆様が地域で行いたいことや勉強したいことを企画検討する実行委員会。 恒例となっている「サバイバル体験会」や「ケアプラザ文化祭」の内容等の検討、決定、準備を行う他、防災センター見学や次年度の計画、事業の企画を検討した。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 16回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絆塾・下永谷 避難生活 サバイバル 体験会	<p>【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。 地域のつながり交流の場づくり。活動の周知・ 情報提供</p> <p>【内容】 HUG、ポリ袋を使ったサバイバルクッキング、防災グッズの展示を行った。</p>	<p>【時期】 4月</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ 廊下ギャラリー	<p>【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。 地域のつながり交流の場づくり。 情報提供</p> <p>【内容】 ケアプラザの廊下の壁面を開放し、地域住民や近隣保育園の園児が制作した絵画や写真作品等の展示。その他ケアプラザの自主事業の紹介パネルやボランティアや参加者の募集パネルを展示し、情報提供を行った。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おまつりひろば	<p>【目的】 地域で子育て支援</p> <p>【内容】 「乳児・幼児の兄弟が両方対象の行事をしてほしい」という声を元に未就学児を対象に季節感が出るように「縁日ごっこ」を実施。</p>	<p>【時期】 7月</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそびにおいでよ	<p>【目的】 地域の中にある小学生の居場所、つながり作り</p> <p>【内容】 地区内の小学校の個別支援級の児童と1～2年生の児童を対象にした余暇支援と居場所作り。貸館団体によるプログラム（スポーツチャンバラ、折紙）を実施。</p>	<p>【時期】 1月、3月</p> <p>【回数】 各1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	<p>【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成</p> <p>【内容】 ケアプラザでボランティア活動している活動の内容や課題の報告や意見交換等、交流会を開催。</p>	<p>【時期】 3月</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア見学会	<p>【目的】 担い手・人材の発掘、育成</p> <p>【内容】 地域住民を対象とした見学会。デイサービスでの活動の見学・体験を実施。</p>	<p>【時期】 10月</p> <p>【回数】 1回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサロン 「ポケット パーク」	<p>【目的】 地域で子育て支援</p> <p>【内容】 未就園児（2～3歳）と保護者を対象とした子育てサロン。 月替わりのプログラムや絵本の読み聞かせを実施。 保健活動団体の協力を得ながらクリスマスプレゼントの作成をした。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 11回 (うち1回はプレゼント制作のためボランティアのみ)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館説明会 (部屋利用団体 交流会)	<p>【目的】 活動のネットワーク。担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。</p> <p>【内容】 次年度より貸館の利用について一部改正があるため、説明会を実施。</p>	<p>【時期】 12月</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もちつき大会 & バザー	<p>【目的】 活動の周知・情報提供。地域のつながり交流の場づくり</p> <p>【内容】 地域の自治会町内会からなる実行委員会のもちつきと、ボランティア団体等が行うバザーの実施。</p>	<p>【時期】 9月～12月</p> <p>【回数】 3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁・将棋 サロン	<p>【目的】 男性の地域活動参加のきっかけづくりと仲間づくり。 担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。 健康づくり。地域で高齢者の支援。</p> <p>【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら囲碁・将棋を行うサロンの開催。夏休みを利用し、「夏休みキッズスペース」と合同で実施した。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 24回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キッズスペース	<p>【目的】 地域で子育て支援、障がい児支援</p> <p>【内容】 未就園児から小学生までの子どもが、ケアプラザで自由に過ごせるフリースペースを設け開催した。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 47回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み毎日 キッズスペース	<p>【目的】 地域で子育て支援、障がい児支援</p> <p>【内容】 夏休み期間中、未就園児から小学生までの子どもが、ケアプラザで自由に過ごせるフリースペースを開催。うち6回は「囲碁・将棋サロン」と合同で実施した。</p>	<p>【時期】 7月～8月</p> <p>【回数】 35回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
下永谷地域 ケアプラザ フリー マーケット	<p>【目的】 担い手・人材の育成。地域のつながり交流の場づくり。</p> <p>【内容】 地域住民によるフリーマーケットの開催。</p>	<p>【時期】 6月</p> <p>【回数】 1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆらりん ころりん	<p>【目的】 地域で子育て支援</p> <p>【内容】 0～1歳を対象に、親子遊び、パラバルーンあそび、読みきかせ等</p>	<p>【時期】 6月・11月</p> <p>【回数】 2回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プラレールのへや	<p>【目的】 地域で子育て支援、子育て中の父親の居場所づくり</p> <p>【内容】 小学校低学年までの子どもとその保護者を対象にプラレール遊びを通して参加者同士の交流の場の開催</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 24回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室	<p>【目的】 地域で子育て支援</p> <p>【内容】 夏休み期間中、地域に在住の講師の指導による工作教室。前年度開催時のアンケートを基に作品内容を低学年向け、高学年向けと分けて実施した。</p>	<p>【時期】 4月～8月</p> <p>【回数】 4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の卓球サロン	<p>【目的】 地域での仲間づくり。地域のつながり交流の場づくり。健康づくり。地域で高齢者の支援。</p> <p>【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら卓球を行う大人限定のサロンを実施。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 47回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
卓球サロン	<p>【目的】 地域での仲間づくり。地域のつながり交流の場づくり。健康づくり。</p> <p>【内容】 参加者同士でコミュニケーションをとりながら卓球を行う。</p>	<p>【時期】 4月～3月</p> <p>【回数】 98回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサークル交流会	<p>【目的】 子育てサークルのネットワークづくり。保護者に対するサークル運営のヒントや育児力の向上。地域に向けた活動のきっかけづくり</p> <p>【内容】 交流会（プログラムの企画・打合せとプログラム実施までサークル代表者と共に行う） プール遊び、運動会、デイサービス交流、親子遊びの実施。</p>	<p>【時期】 通年</p> <p>【回数】 7回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもの卓球サロン	<p>【目的】 こどもの居場所作り、世代間交流</p> <p>【内容】 こども達が安心して卓球を楽しめる場の提供。貸館団体（主に卓球の団体）に協力をして頂き、見守りや相手をしてもらいながら交流をし、顔の見える関係づくりを行なった。</p>	<p>【時期】 4月、7～8月、3月</p> <p>【回数】 9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しもかふえ	<p>【目的】 地域での仲間づくり。交流の場づくり。</p> <p>【内容】 参加者同士でお茶を飲みながらコミュニケーションを図る</p>	<p>【時期】 最終月曜日</p> <p>【回数】 9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスクッキー作り	<p>【目的】 小学生の居場所づくり、地域参加へのきっかけづくりとしてケアプラザを知ってもらう</p> <p>【内容】 クッキー作り</p>	<p>【時期】 12月</p> <p>【回数】 1回</p>